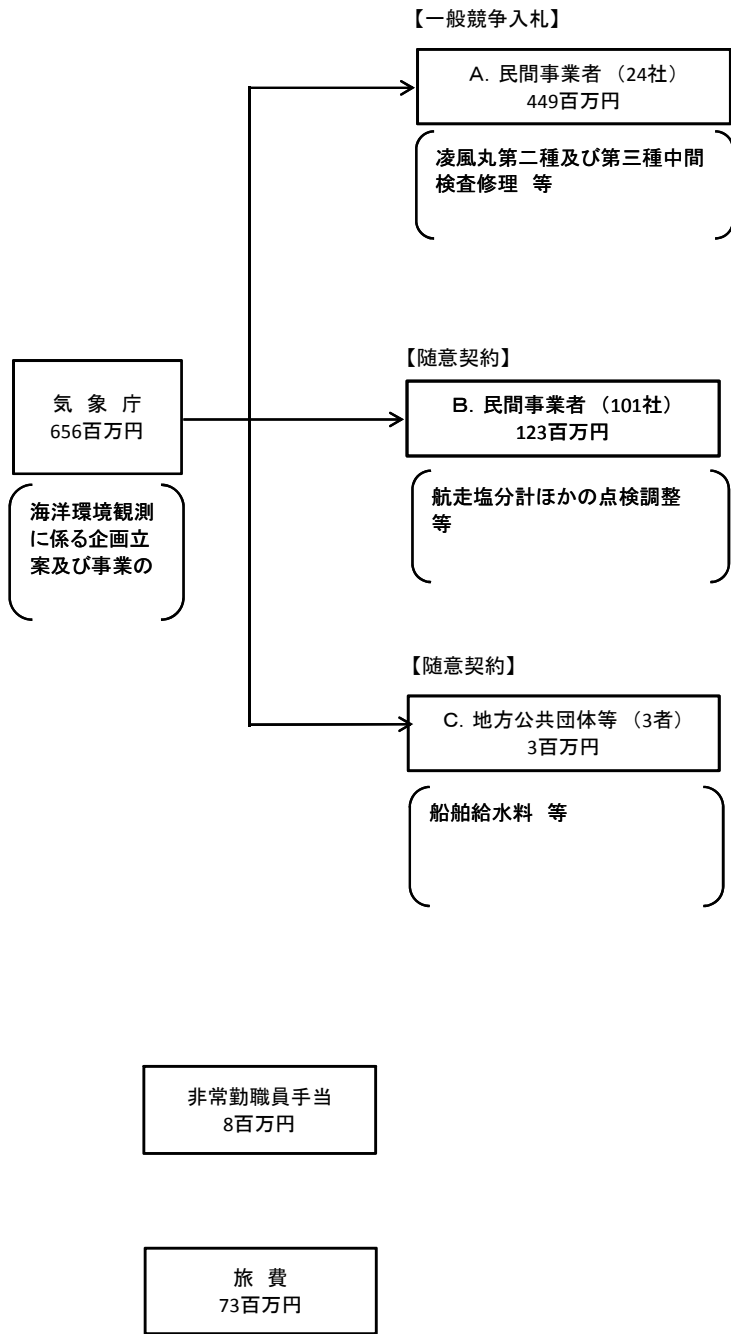


平成24年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海洋環境観測		担当部局庁	気象庁地球環境・海洋部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～		担当課室	海洋気象課		課長 矢野 敏彦		
会計区分	一般会計		施策名	10 自然災害による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第13条、第14条 第15条 他) 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律(第46条) 特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律(第22条) 地球温暖化対策の推進に関する法律(第3条)		関係する計画、通知等	「京都議定書目標達成計画」(平成20年3月28日改定案閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	海洋における温室効果ガス、汚染物質及び水温、水質等の実態を把握し、地球温暖化予測精度向上や地球温暖化対策の策定に貢献する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地球温暖化や海洋汚染等の地球環境問題に対処するため、海洋気象観測船により、陸上に比べて観測データの乏しい海洋における温室効果ガスや汚染物質等の実態を高精度の海洋観測により把握することにより、二酸化炭素の海洋への吸収量・蓄積量及び世界の気候に影響を与える海洋深層循環の変動を把握する。また、海上の気象観測や、水温、塩分、海流、化学成分等の実況把握を通じ、北西太平洋の海洋の循環を把握し、海洋が気候変動に与える影響について解明を図る。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算の状況	当初予算	1,455	911	677	723	723	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	1,455	911	677	723	723	
	執行額	1,444	796	656				
執行率(%)	99.2%	87.4%	97.0%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (23年度)
	地球環境に関する気象情報について、平成19年度から平成23年度までの各年度に3件(5年間で計15件)の改善又は新規の情報提供を行う。		成果実績	件	9	11	16	15
			達成度	%	60	73	107	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	観測船による海洋観測点数 (各層観測、表層水温観測等)		成果実績 (当初見込み)	点	1,352	920 (883)	863 (818)	— (895)
	観測船による海洋観測種目の数 (観測業務規程の分類)		成果実績 (当初見込み)	種	26	26 (26)	26 (26)	— (26)
単位当たりコスト	761 (千円/点)		算出根拠	H23執行額/H23観測船による海洋観測点数				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	非常勤職員手当	14	14	・船令による船舶修繕費の増3百万円				
	職員旅費	24	24	・非常勤職員手当の単価の見直し0.1百万円				
	航海日当食卓料	56	56	・給電・給水関連施設の運用体制の見直しによる土地建物借料の減▲1百万円				
	観測予報庁費	97	97	・燃料費の単価の見直し▲3百万円				
	船舶運航費	531	531					
	土地建物借料	2	1					
計	723	723						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・世界気象機関(WMO)やユネスコ政府間海洋学委員会(IOC)等の枠組みの下、全海洋をカバーする高精度の二酸化炭素観測網を構築し、統一的な観測データベースを作成する取組みが進められており、気象庁の観測定線は、この国際観測網の一部として位置づけられている。このため、政策の優先度が高く、かつ国が実施すべき事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・船舶の修理及び燃料等の調達に当たっては、一般競争入札を実施しており、その他の契約についても、できる限り一般競争入札により契約するよう努めている。 ・調達内容を吟味し、コスト縮減に努め、無駄のない予算執行に努めている。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・海洋における二酸化炭素の観測は、観測船によるのみ可能であり有効な手段である。 ・成果目標に対する達成度は着実に向上している。 ・二酸化炭素関連物質の観測を継続的に実施しているのは気象庁のみである(研究目的の観測は他機関も実施)。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・我が国周辺海域の温室効果ガスの挙動や汚染物質及び水質を高精度で把握するには、特別な設備及び分析装置により実際の海水を分析できる観測船を用いる以外にはなく、観測船による観測が必要不可欠である。 ・平成23年度は、引き続き競争性の確保等による効率的な調達方法の実施に努めた。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	引き続き、調達の競争性を確保しつつ、調達方法の改善を図り、コストの縮減に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	海洋気象観測船が定繋港で使用する給電・給水関連施設の運用体制を効率化することにより借料を見直し、コストの縮減を図った。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>・気象庁の高精度海洋気象観測の概要及び解析結果等については、以下の気象庁ホームページにおいて公開している。</p> <p>海洋気象観測船の主要な観測システム：http://www.data.kishou.go.jp/db/vessel_obs/description/obssystem.html 主要な観測定線：http://www.data.kishou.go.jp/db/vessel_obs/description/obsline.html 海洋の温室効果ガス：http://www.data.kishou.go.jp/shindan/sougou/html/1.4.html 海洋中の二酸化炭素蓄積量：http://www.data.kishou.go.jp/shindan/a_2/co2_inventory/inventory.html 深層循環の変動について：http://www.data.kishou.go.jp/db/climate/knowledge/glb_warm/deep.html</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	495	平成23年行政事業レビュー	472

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)サノヤス・ヒシノ明昌			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	凌風丸第二種及び第三種中間検査修理	75			
計		75	計		0
B.(株)イーエムエス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	航走塩分計ほかの点検調整等	19			
計		19	計		0
C.東京都水道局			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
光熱水料	船舶給水料	2			
計		2	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)サノヤス・ヒシノ明昌	凌風丸第二種及び第三種中間検査修理	75	6	97
2	伊藤忠エネクス(株)	A重油購入	75	6	93.92
3	函館どつく(株)	啓風丸第二種中間検査修理	62	6	97.7
4	鈴与商事(株)	A重油購入	56	6	97.36
5	カメイ(株)	A重油購入	43	4	95.83
6	オリエンタルマリンサービス(株)	凌風丸・啓風丸バルブほかの購入 等	18	2	97.53
7	第一商事(株)	凌風丸・啓風丸ビニールテープほかの購入 等	13	2	89.5
8	昭和礦油(株)	A重油購入 等	13	6	99.6
9	(株)エス・イー・エイ	中層フロートの購入	12	3	93.4
10	(株)リゆうせき	A重油購入	9	2	97.4

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)イーエムエス	航走塩分計ほかの点検調整 等	19	随意契約	
2	ジールサイエンス(株)	フロン・一酸化二窒素観測装置保守点検 等	8	随意契約	
3	(株)アイ・エイチ・アイ・マリン	凌風丸雑用清水吸入管新替修理 等	7	随意契約	
4	(株)ダイエイ	シリンダライナーパッキン他の購入 等	6	随意契約	
5	オリエンタルマリンサービス(株)	安全弁ほかの購入 等	6	随意契約	
6	日本アンス(株)	全炭酸・アルカリ度分析装置の点検調整	4	随意契約	
7	全国漁業協同組合連合会	気象庁観測船の外国寄港における代行手続き(単価契約)	4	随意契約	
8	光進電気工業(株)	啓風丸・凌風丸総合海上気象観測装置の点検調整 等	4	随意契約	
9	(株)離合社	ガラス注射筒(300cc)の購入	4	随意契約	
10	明星電気(株)	船用気象電報自動送信装置の点検調整他	4	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京都水道局	船舶給水料	2	随意契約	
2	東京都東京港管理事務所	有明係船場1敷地等借料 等	0.9	随意契約	
3	函館市会計管理者	啓風丸給水施設利用料(函館港) 他	0.08	随意契約	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					